

令和5年度 第25回「松任地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年11月25日（土） 10：30～11：30

場 所：松任公民館

参加団体等：松任婦人会、松任壮年会、星寿会、松任地区社会福祉協議会、松任地区体育協会、松任小校下子ども会、市町会連合会副会長、市長会連合会理事 など

発言【1】

- (1) 白山市の人口動態の推移の説明の中で、11万人の維持を目指しているという発言があった。死亡数は変えられないが、出生率は政策次第で増加に転じるのではないか。例えば、兵庫県明石市と比較し、何が足りないのかを精査することによって、まだ人口増加の可能性があると考えるように思う。
- (2) 松任文化会館ピーノの駐車場の数が限られている。駐車できる場所を増やすことで、利用しやすくなると思う。例えば、殿町の中川寺の空き地を整備するか、松任城址公園の一部を駐車場に整備するなど、松任文化会館を利用しやすくなるために検討して欲しい。

【市】

- (1) 市では、18歳以下の医療費の無償化や第2子の保育料の無償化、婚活事業など、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進しています。ご提案いただいたように色々な面を見ながら検討していきたいと思えます。
- (2) 中川寺跡地は現在、松任学習センターや松任文化会館のイベントの際の臨時駐車場として活用しています。令和7年度中に舗装し、駐車場として、より利用しやすくなる予定です。

なお、駅前立体駐車場については、市が駐車場に補助金を出し、施設利用3時間まで無料にする等の対応をしているので、イベントの際には駅前の立体駐車場も積極的に利用していただきたいと思えます。

発言【2】

各種団体に関わっているが、団体の役員が高齢化している。小さな町内会も大きい町内会も、必ず1人役職を出さなくてはいけない。役員会などは、若い人が参加しやすくなるために、平日19時30分とか、土曜日にするなど考えられないか。日中の開催では、仕事をしている若い人が出席できない。

【市】

市では、地域課題の解決や地域資源の活用に向けて、地域住民の皆さんや各種団体で考え・取り組む仕組みである地域コミュニティ組織の設立を推進しており、令和5年度、松任地区においても「松任まちづくり協議会」が設立されました。松任地区のように人口が増加している地区においても、担い手不足の課題があることを組織内の多様な団体や住民にも認識してもらい、協議していただきたいと思います。

また、会合の開催時間については、各担当課から市町会連合会へ各種審議会等の委員選出の依頼がある際には、できる限り配慮するよう周知していきたいと思います。

発言【3】

地域コミュニティ組織については、予算を使いやすくしてほしい。ある程度自由に使える金額を、1～2割でも提示してくれるほうが有難い。今後は市の方針が決まり次第、公民館へ知らせてほしい。

【市】

令和6年度からの「(仮称) 地域コミュニティ推進交付金」は、現在、地域コミュニティ組織に交付している「地域コミュニティ活動支援補助金」に加え、市内全公民館に交付している公民館活動事業、公民館運営審議委員報酬及びスポーツ課の「うぐいす運動」を合算した相当額に、さらに人口割を加算した額を各地域コミュニティ組織への交付上限額とすることを考えています。

なお、交付金の対象経費は、10月に開催した説明会等でいただいたご意見をもとに精査するとともに、公民館との協議を踏まえて、改めて説明したいと思います。

発言【4】

- (1) 新聞に掲載された「いしかわ県人祭 in 大阪」の市長祝辞に、会の開催を祝う言葉がなかったのが残念だ。
- (2) 市の会合がある時には、会場となる建物の入り口に札を立てるか、案内の人間を配置してほしい。
- (3) 松任公民館に置いてある公衆電話の前に物が置いてあり使えない。
- (4) ミライ会議は、市長に対し市民が直談判で要望を伝える場なのか。地域の問題や要望を解決するのは市議会議員の仕事ではないか。

- (5) ミライ会議の概要をホームページに掲載するのが遅い。
- (6) 小学校の「校下」という呼び方について、いつの頃か「校区」という言い方になっている。「校下」という言い方に正していく事は出来ないか。
- (7) 白山市が締結している協定について。ホームページで協定書そのものを掲載してほしい。また、掲載のフォーマットを統一してほしい。
- (8) 中高生の職場体験として中高生が、いろいろな会社に出向いているが、暑い中、ただ水を撒いているだけといった様子を見かける。地域の人と一緒に公園の清掃をするようなボランティア活動体験に転換してはどうか。

【市】

- (1)(2)きめ細かな配慮が足りなかったという事は直していかなくてはいけないと思います。ご意見をいただきありがとうございます。
- (3) 公民館を使用する皆さんが、利用しやすい配置を心掛けます。
- (4) ミライ会議を通じて、地域にどのような課題があるのかを把握させていただいています。要望を聞くだけの場ではなく、地域の状況を聞かせてもらうことで、どのような施策が必要か、議会とも話をしながら、地域の未来をどうしていくか、進めていく取り組みだと思っています。
- (5) 今後は会議の概要を早く掲載できるように心掛けます。
- (6) 市では、通学範囲を表す言葉として「通学区域」を使用しています。校区・校下ともに方言であるようですので、市として使用を統一しているものではありません。

また、「校下」という言葉は、学校の下に町があるようなイメージを持つため、「校区」と言うようになった流れがあります。昔から「校下」を聞き慣れている人にとっては、違和感があるかもしれませんが、実態に合わせて呼び方が変わってきています。一般的には「校区」という言い方も広まってきています。
- (7) 協定の一覧はホームページに掲載されていますが、協定書自体のPDFが掲載されていないものもあります。そこは現状を把握し、検討したいと思います。
- (8) 公園の管理で、若い人や子どもたちを集めて草刈りをしたりしている地区もあります。職場体験で、水をまいて終わっているのであれば残念です。状況を確認していきたいと思っています。